

# 太宰府中学校 1 学年だより No.27

R3.1.22 (金)

文責：石橋 眞子

2月行事

## 語り合おう・伝え合おう

～二者面談を通して～



年が明けてまもなく、福岡県にも再び「緊急事態宣言」が発令されました。毎日報道される感染者の数を見るたびに、不安になってしまふことでしょう。

学校生活においては、現在休校などの措置はとられていません。引き続き、予防に努めることと、検温カードの提出を忘れないことを心がけてください。(残念ながら、未だ忘れ0になりません🙏)

さて、今週は6時間目に「二者面談」を行っています。

5月の中旬に始まった中学校生活もあっという間に7ヶ月たち、1年生とのしての生活も残りあと2ヶ月ほどになりました。

先生達は、皆さんが次の学年に進級するときに、勉強や部活動、友達関係などでつまづいたことや気になることをこの時期にきちんと解決して、誰もがスムーズにスタートしてほしいと思い、面談の時間を設定しました。(面談を受けない人は、教室で学力テストの勉強をします)

面談は、先生と皆さんの一対一の時間です。普段、なかなか先生と話すことがない人も、この時間は安心して先生と語りあえてしょう。

「語り合う」という行為は、安心感を生む効果があるそうです。中学生として過ごしてきた7ヶ月間、誰でも大なり小なりの悩みは出てきます。「悩み」という心の<sup>おもろ</sup>錘は、信頼できる人に語るだけで、その半分は解決できると言われています。いつも皆さんのことを大切にしている先生方に語ることで、心の錘を取り除き、進級へのよりよいステップにつなげましょう。

また、面談で出てくる悩みで最も多いのは「友達関係」です。

ちょっとした誤解で友達とギクシャクしている、あの人の言葉に傷付いた、どうして自分は友達づりがうまくいかないのか・・・友達づくりは、いつでも、誰でも抱える大きな悩みのひとつです。

先生達も、中学生の頃は皆さんと同じような悩みを抱え、たくさんの苦い経験もしてきました。ですから、同じ悩みを持つ皆さんに共感できるし、アドバイスもできます。

最も良いアドバイスは「自分の言葉で・直接・伝える」ことです。伝えることを恐れて逃げても、悩みの解決にはならず、かえって傷が深くなります。

今回の面談で、先生から素敵なアドバイスをもらったら、すぐ実行してみましょう。

「自分の言葉で・直接・伝える」一歩の勇気を、先生達は心から応援しています。

### 保護者の皆様

すでにご承知のとおり、福岡県に緊急事態宣言が発令されました。中学校は現在のところ休校措置はとっておりませんが、今後の状況次第では、変更されることがあります。

15日付の教育委員会からのお知らせ(\*)の通り、お子様およびご家族の状況によって、登校の自粛、保健所および医療機関の対応が示されております。ご確認の上、適切にご対応くださいますようお願いいたします。

\*裏面に再度掲載させていただきます